

# 「尾道市立日比崎中学校教職員一同」が 令和2年度 文部科学大臣賞を受賞しました！



文部科学大臣賞は、日本国内において様々な分野で顕著な活躍或いは成果を挙げた教職員又は教職員組織に対し、文部科学大臣の名により授与する賞です。

本校は、「広島版『学びの変革』アクションプランのパイロット校事業実践指定校として、生徒の主体的な学びを促す『課題発見・解決学習』について、新たな単元・題材の開発と実践に取り組んできた」ことが評価されました。

- ・平成28・29年度、広島版「学びの変革アクションプランパイロット校」となり、日比中授業スタイルを確立。
- ・平成30年度、グループで交流をした後の「話し合い活動」に焦点をあてた取組。
- ・令和元年度、広島県中学校特別活動研究大会を受け、特別活動において「話し合い活動」の充実による、合意形成力と意志決定力の育成。
- ・本年度、総合的な学習の時間において、ふるさと尾道を軸に「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」のある探究学習「HIBIZAKI SURVIVAL PROJECTS」(防災学習)を立ち上げ、その中でも協働学習「話し合い活動」を充実させ、生徒の資質・能力(表現力・コミュニケーション能力・主体性)を伸ばしながら、ふるさとで活躍できる生徒の育成。

このように、校長を中心とした学校組織として、教科だけでなく、特別活動や総合的な学習の時間そして道徳など、全ての授業において「話し合い活動」の充実を図り、新たな単元・題材の開発と実践に継続的に取り組んできたことが、平成30年度の広島県教育奨励賞に引き続き、今回の文部科学大臣賞受賞(全国54校が受賞)となりました。